

施工説明書

P型1級用副受信機内器

屋内専用

品番 NYI403FKB□□H・NYI403FK□□H(□□は回線数)

NYI403FKB□□H・NYI403FK□□H(□□は回線数)

- 正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- 施工するには消防設備士(甲種第4類)の資格が必要です。
- 施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。
- 万一、施工説明書にしたがわず施工された場合の事故や故障などについては、責任を負い兼ねることがあります。
- 火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

付 属 品		
施工説明書(本紙)		1枚
取 扱 説 明 書		1枚
5 回 線 の 場 合	ネジ(露出ボックス取付用)(M4×10)	2本
	ネジ(埋込ボックス取付用)(M4×40)	4本
	副受信機移信用リレーユニット	1コ
	取付スペーサ	6コ
	接続用ケーブル(ケーブル:黄色)	1本
10回線~20回線の場合	接続用ケーブル(ケーブル:白色)	1本
	ネジ(露出ボックス取付用)(M5×13)	4本
	ネジ(埋込ボックス取付用)(M5×40)	4本
	副受信機移信用リレーユニット	1コ
	取付スペーサ	6コ
25回線・30回線の場合	接続用ケーブル(ケーブル:黄色)	1本
	接続用ケーブル(ケーブル:白色)	1本
	ネジ(露出ボックス取付用)(M5×13)	4本
	ネジ(埋込ボックス取付用)(M5×40)	4本

安全上のご注意

■必ずお守りください



警告



ぬれ手禁止

- ぬれた手で副受信機をさわったり、水をつけたり、水をかけたりしない。
感電・故障の原因となります。



必ず守る

- 施工説明書にしたがい、その質量に十分耐えるように、強固に取り付ける。
安易な取り付けは脱落によりケガの原因となります。
- 受信機の電源(AC100V)を切り、受信機内部の電池を取りはずした状態で施工する。
活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

施工後の確認方法



確認後は、受信機の復旧スイッチを押して、平常時の状態にしてください。
〔P型1級受信機の取扱説明書を参照ください。〕

- 副受信機の警報停止スイッチを「定位」側にしてください。
- 受信機のL-C間を1回線ずつ短絡させ、副受信機の該当回線の点灯および警報音の鳴動を確認する。1回線確認ごとに受信機の復旧スイッチを押してから、次の回線を確認してください。

P型1級受信機	副受信機
1回線目(L1-C)	1回線目一点灯
2回線目(L2-C)	2回線目一点灯
3回線目(L3-C)	3回線目一点灯
⋮	⋮
n回線目(Ln-C)	n回線目一点灯

施工上のご注意

- この商品は「屋内専用」です。屋外・屋側には設置しないでください。
- 接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。

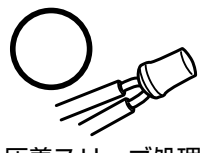
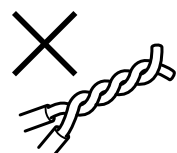
■次のような場所には設置しないでください。

(誤動作や故障の原因となります。)

- 直射日光の当たる場所
- 水滴、蒸気、ホコリなどがかかる場所
- 周囲に操作上支障となる障害物のある場所
- 衝撃、振動などの影響を受ける場所
- 常に人がいなくてようすを確かめられない場所
- 薬品などのガスが発生する場所
- 強電界やノイズの発生する場所

■施工時のご注意

- 電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。
〔電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化不良をおこし、誤報の原因となります。〕



圧着スリーブ処理

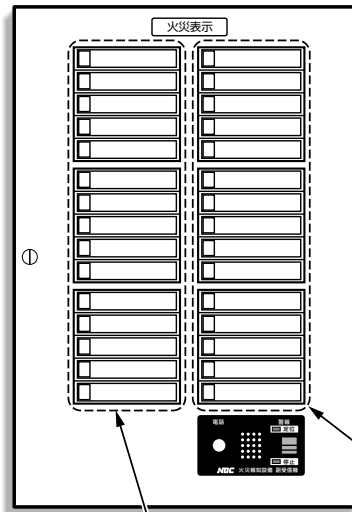
- 工事・施工時のゴミなどは機器の中に残さないでください。
ショートや故障の原因となります。
- 接続方法に示す機器以外の機器を接続しないでください。
不適切な接続は誤動作・故障の原因となります。
- 他社商品との接続は、仕様をよく確認してください。
仕様が合わない和不作動や故障の原因となります。

接続方法



- 副受信機を複数台接続する場合は、並列に接続してください。
ただし、総接続個数については、受信機の電源容量に注意してください。
- 電線は、端子ネジの場合は、0.75mm²~1.25mm²またはφ0.9~φ1.6、速結端子の場合は、φ0.9~φ1.2を使用してください。

■地区灯と端子記号の対応



- 図は30回線の場合を示す。

回線数	地区灯の左列	地区灯の右列
20	I1~I10	I11~I20
25	I1~I10	I11~I25
30	I1~I15	I16~I30

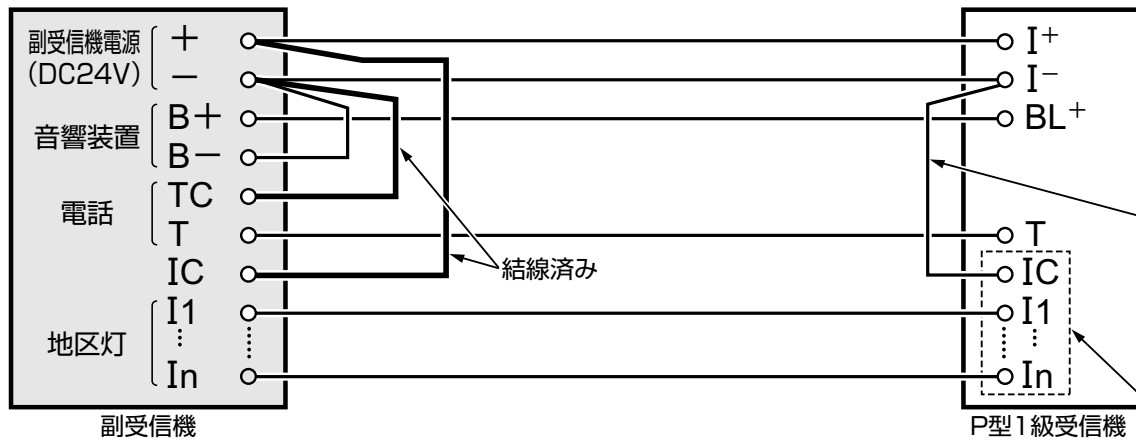
In: 端子記号を示す。

地区灯の左列

地区灯の右列

■P型1級受信機との接続

HBP100シリーズ・HBP101シリーズ・HBP134シリーズ・HBP135シリーズ・HBP138シリーズ・HBP139シリーズ・NBP102シリーズ・NBP103シリーズの場合



副受信機

P型1級受信機



HBP101シリーズ・NBP102シリーズ・NBP103シリーズ品番のP型1級受信機の場合は、必ず接続してください。



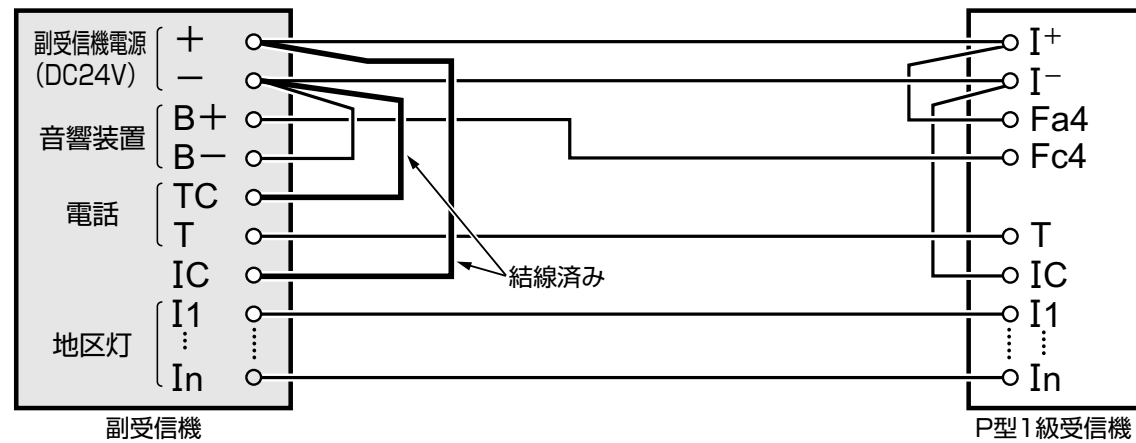
HBP101シリーズ・NBP102シリーズ・NBP103シリーズの場合は、副受信機に付属の副受信機移信用リレーユニットを取り付けてください。



HBP134シリーズ・HBP135シリーズ・HBP138シリーズ・HBP139シリーズの場合、BL+のかわりにIB+に接続してください。



NBP102シリーズ・NBP103シリーズにおいて、防排煙感知器発報や警報入力時など自火報感知器以外の要因でも副受信機を鳴動させたい場合は、下図のように接続してください。また、代表移信設定にて該当のFaの条件を「副受信機」に設定してください。設定方法は受信機に付属の設定マニュアルを参照してください。

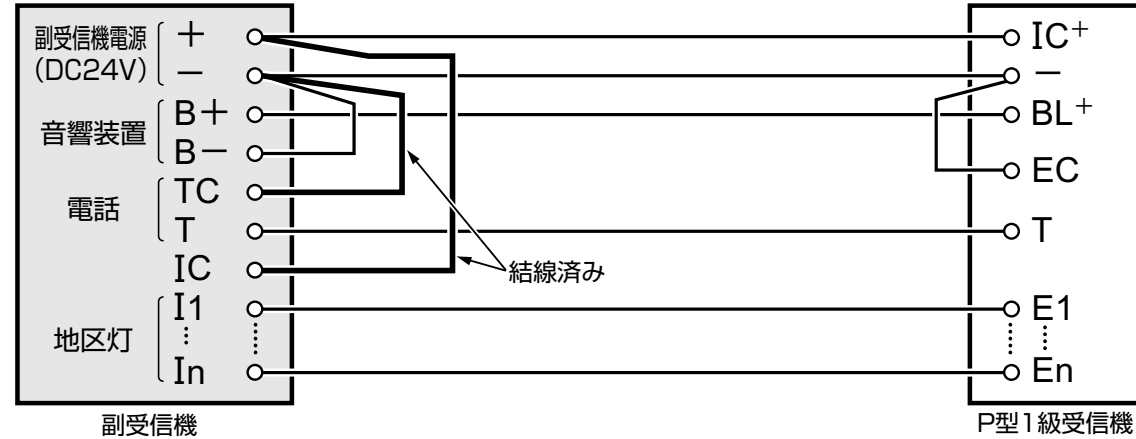


副受信機

P型1級受信機

※図は代表移信接点④(Fa4-Fc4)を使用した場合を示します。

HBP117シリーズの場合



副受信機

P型1級受信機



- HBP117シリーズの場合、-のかわりにIC-に接続してください。
- 副受信機に付属の副受信機移信用リレーユニットは使用しません。

取 付 方 法

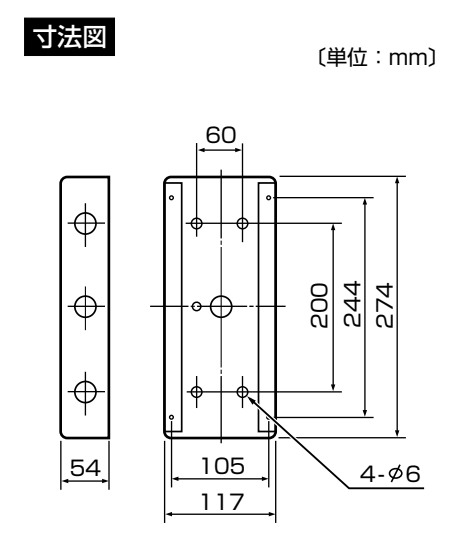
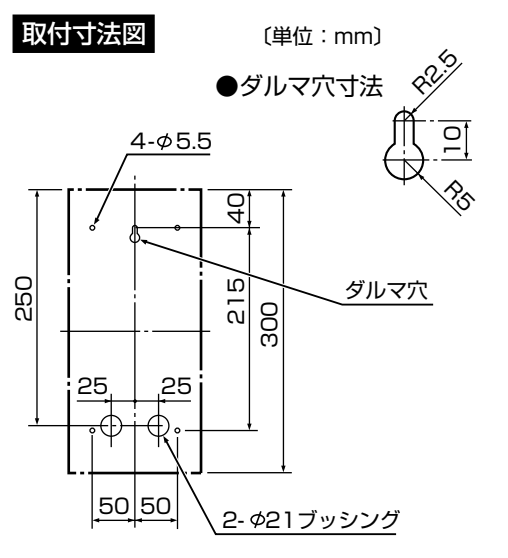
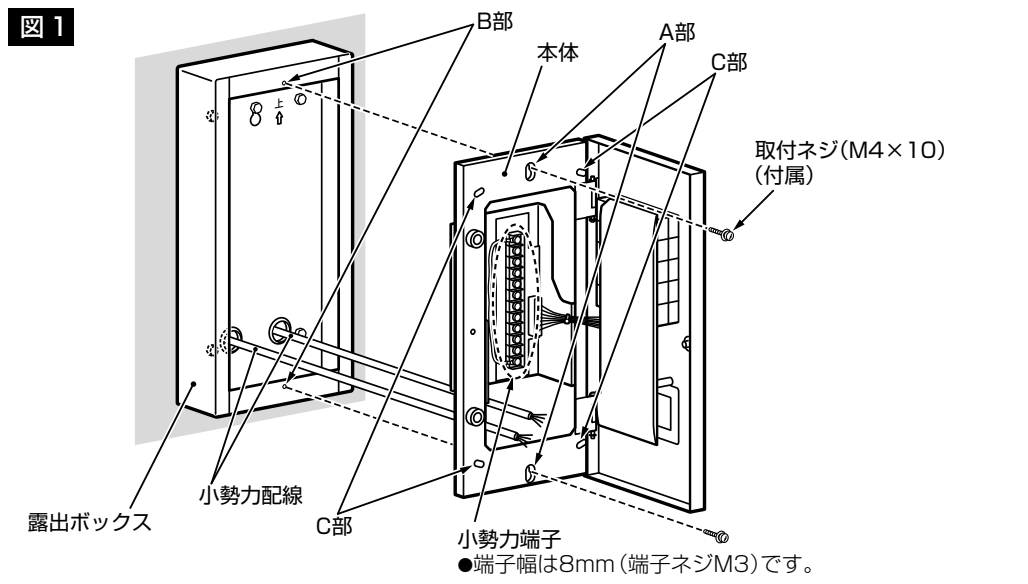
■5回線の場合

露出取付の場合

1. 使用するブッシングを刃物などで開ける。
2. 取付位置を決める。
 - 中央上部のダルマ穴は露出ボックス取り付け時の位置決め用としてご利用ください。
 - 露出ボックスの底上げは9mmです。
3. 入線を行う。
4. 露出ボックスSJ型(NBY418EJH) (別売)を取り付ける。
 - 上下を間違わないよう露出ボックスSJ型(NBY418EJH) (別売)内の表示マーク(上側)が上にくるように取り付けてください。
 - 床面に対して、垂直になるように取り付けてください。傾斜角度が大きいと副受信機の扉の開き方が悪くなる場合があります。
5. 露出ボックスSJ型(NBY418EJH) (別売)に付属の取付ネジ(上下各1カ所)(M4×10)をB部に仮止めして、本体の扉をあけ、A部を露出ボックスのB部に引っ掛けてください。
6. 本体のA部は、すべて長穴(9×15)となっていますので、露出ボックス側面に本体枠側面を合わせながら取付ネジ(2カ所)をしめつけてください。
7. 配線する。※「接続方法」参照。
8. 本体の扉を閉める。

埋込取付の場合

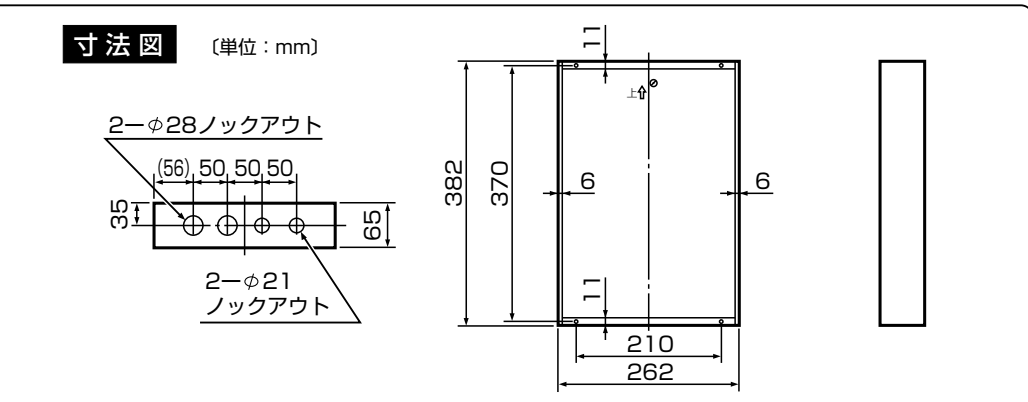
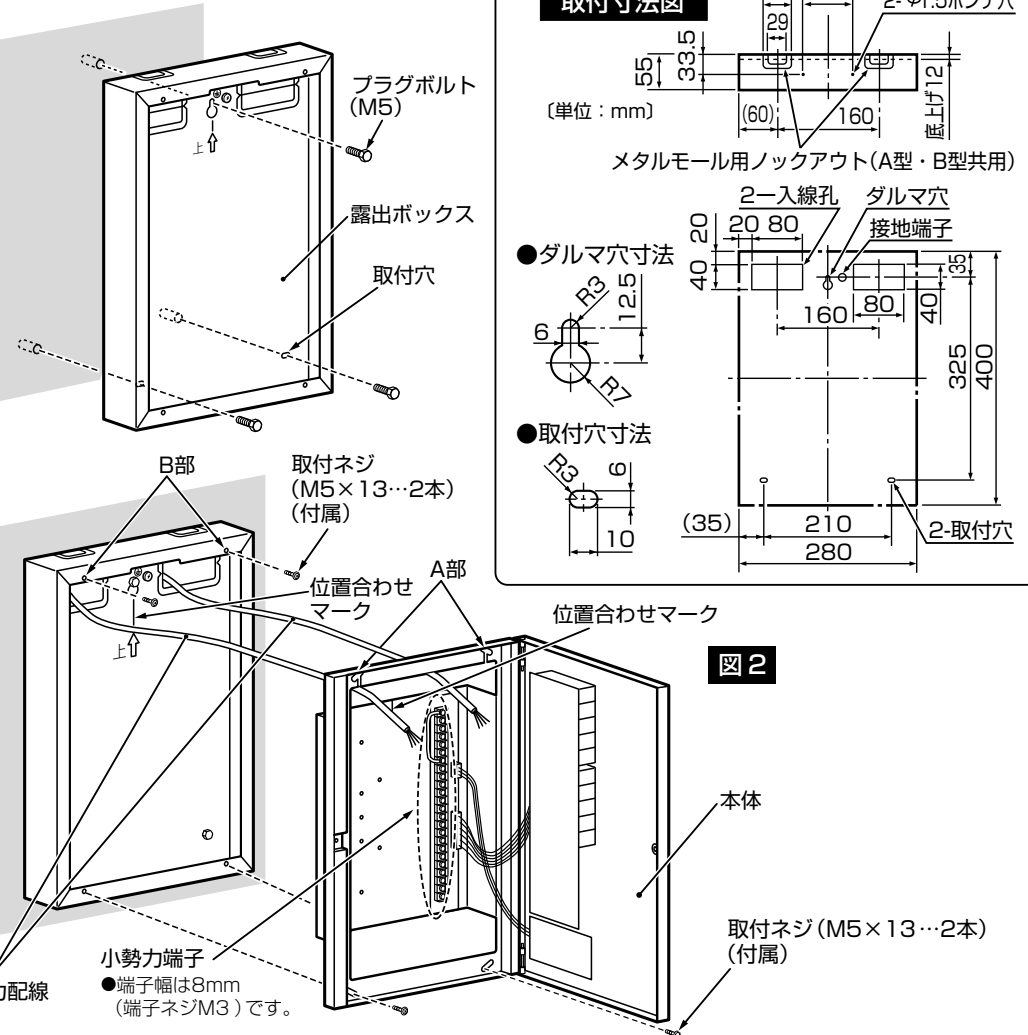
1. 入線を行う。
2. JIS 5コ用スイッチボックス(カバーなし) (市販)を取り付ける。
3. JIS 5コ用スイッチボックスに付属の取付ネジ(M4×40) (4カ所)を本体のC部に挿入し、取り付ける。**図1参照**
 - ※その他の取付方法は、露出取付と同じです。



■10回線～30回線の場合

露出取付の場合

1. 取付位置を決め、取付用プラグを打ち込む。
 - プラグボルト(M5) (市販品)の打ち込みと、配線を引き込む位置は右記の取付寸法図のとおりです。
 - 中央上部のプラグボルトは露出ボックス取り付け時の位置決め用としてご利用ください。
 - 露出ボックスの底上げは12mmです。
2. 入線を行う。
3. 露出ボックス1J型(NBY407EJA) (別売)を取り付ける。
 - 上下を間違わないよう露出ボックス1J型(NBY407EJA) (別売)内の表示マーク(上側)が上にくるように取り付けてください。
 - 床面に対して、垂直になるように取り付けてください。傾斜角度が大きいと副受信機の扉の開き方が悪くなる場合があります。
4. 露出ボックス1J型(NBY407EJA) (別売)に付属の取付ネジ(上部2カ所)(M5×13)を仮止めして、本体の扉を開け、A部を露出ボックスのB部に引っ掛けてください。
 - 本体と露出ボックスの位置合わせマークを合わせてください。
5. 取付ネジ(下部2カ所)を仮止めしてください。
6. 本体の取付ネジ穴4カ所は、すべて長穴(6×18)となっていますので、露出ボックス側面に本体枠側面を合わせながら取付ネジ(4カ所)をしめつけてください。
7. 配線する。※「接続方法」参照。
8. 本体の扉を閉める。

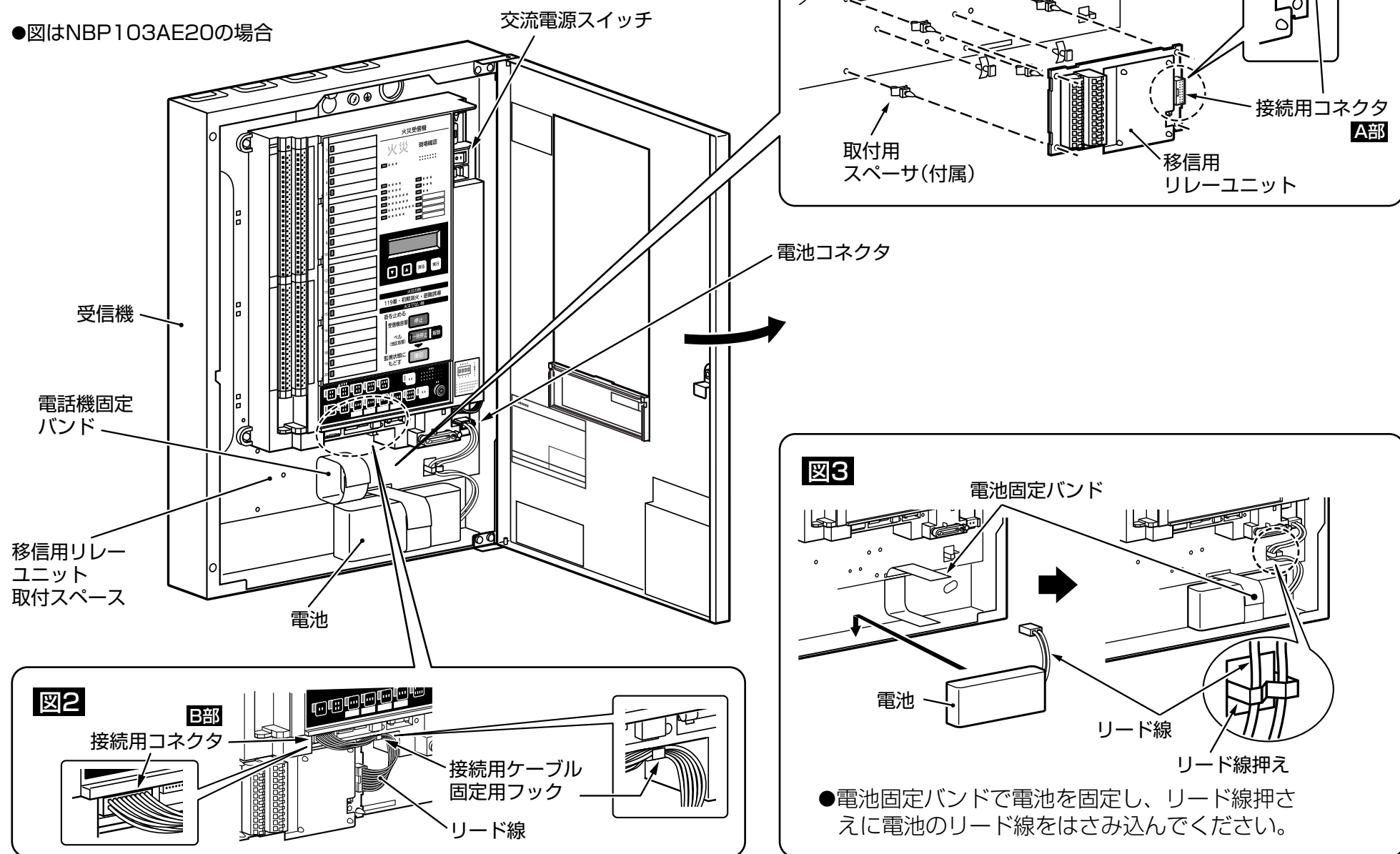


副受信機移信用リレーユニット(付属)の取付方法

※P-100シリーズP型1級受信機(HBP101シリーズ・NBP102シリーズ・NBP103シリーズ)と接続する場合に使用します。

- 1 受信機の扉を開ける。
- 2 交流電源スイッチを「切」側にし、電池を取りはずす。
- 3 受信機の 移信用リレーユニット取付スペース に取付用スペーサ(付属)で副受信機移信用リレーユニット(付属)を取り付ける。(**図1** 参照) (電話機固定バンドも取りはずす。)
※電話機を収納できなくなります。別途、収納袋を購入していただき、受信機の近くに保管してください。
- 4 副受信機移信用リレーユニットの接続用コネクタ **A部** と受信機の接続用コネクタ **B部** を接続用ケーブル(ケーブル: 白色)で接続する。
(HBP101シリーズと接続する場合は接続ケーブル(ケーブル: 黄色)で接続してください。)
※接続用ケーブルのリード線は、接続用ケーブル固定用フックにはさみ込んでください。(**図2** 参照)

●図はNBP103AE20の場合



速結端子のご使用方法

●電線は必ず右記の単線を使用してください。

電線の接続方法

- 速結端子への入線は、1端子あたり、1本にしてください。
- 曲がった心線は使用しないでください。
- 接触不良などをおこし、不動作の原因となります。
- ストリップゲージに合わせて電線の被覆を10mmむき、①心線を奥まで確実に差し込む。

電線のはずし方

- ① 電線を速結端子と水平にして、マイナスドライバー(小)で解除ボタンを押しながら、② 電線を引き抜く。

導通確認のしかた

テスター孔にテスター棒を差し込めば結線したまま導通確認ができます。

